

「Try To キャンペーン！」

研究推進部 吉田 究

2年生知の探究コースの「探究Ⅱ」。夏休みから、8つのグループがそれぞれにフィールドワーク等をスタートし、遅ればせながら本格始動です！

いえ、「遅ればせ」なのは実は私の担当班（環境班）だったりもするのですが、先日（1日）は、海洋プラスチック問題がご専門で、保津川の美化や、亀岡市の脱プラスチックなどにも中心的に関わっておられる大阪商業大学の原田禎夫先生にお話を伺い、未だ冷めやらぬほどの強い刺激を受けたところです♪

私たちが「レジ袋有料化」について調べていると、「レジ袋なんてプラゴミのうちの2%くらいなんでしょ？」「結局はゴミ捨てるのマナー、モラルの問題なんじゃないの？」なんて言われ、今までの私たちは力強く言い返すこともできずオロオロ、オタオタとしていたのですが、これからはそうじゃない、というか、「そうではいけない！」という気持ちを注入されたように思っています。「リサイクルされてるじゃないか？」というも、実は「まやかし」である可能性が高いことも知りました。

私、今、朝読の時間に内田樹さんの『サル化する世界』（文藝春秋／2020年）を読んでいます。「朝三暮四」という故事のように、世界がどんどん刹那的になっていくことを憂えた本なのですが、非常に面白く、朝読の最中に何度か唸り声を上げてしまったほどです。

私たちは、自分の子や孫のために資源や、環境や、安全や、平和や、そういったものをちゃんと送る義務があるのだらうと思います。ですが、私たちは朝4粒の餌を喜ぶサルのように、非常に刹那的に、自分さえ、今さえ良ければ良いような発想に陥りがちです。

『サル化する…』には、「同学齢集団内で相対的な優劣を競ってきた能力なんか、そういう（年齢も違う、性別も違う、専門も違う人たちと共同的にかかわる）場面では何の役にも立ちません。コラボレーションで必要なのは、汎用性の高い知的能力です。交渉力、調停力、胆力、共感力、想像力……そういうものです。だから学校教育の本旨はそういう汎用性の高い知的能力を育ててゆくことでなければならない。それが子どもたちに本当に必要な、生きる知恵と力なんです。」(pp.208-209)とあります。私は、それができるのが「探究」であり「総合」であり「丹 BAL」であると思っています。

私、前にも書きましたが意外と人見知りで、尻が重く、フィールドワーク（のアポを取る）とか、ちょっと苦手なのです。ですが、こうして人と出会ってみると格段にコトは前に進みます。来週は丹波篠山市の某プラスチック業者さんにお話を伺いに行くのですが、今から楽しみでなりません。

一歩足を前に出せば、少なくとも一歩分は前に進むことができる。そんな至極当たり前のことを改めて実感することのできた原田先生の講義でした。

『サル化する…』にはこんな一節もあります。「言うまでもありませんが、知性の発達にとっては、恐怖心を持つことよりも勇気を持つことの方が圧倒的に重要です。」(p.176)。

世間では批判の多かった「Go To」ですが、私たちは「Try To」で行きたいと思います。



9月1日（火）2学年 「丹BAL台湾」

『台湾とは何か』をまとめる作業。今回は、一人一人に「紙芝居」用紙が配られました。自分が読んできた内容を表すキーワードや絵、図にまとめて1分程度で発表し、最後に自分たちの章のあらすじを話すという、少し難しいことに取り組んでいます。短いワードにまとめることが出来ず、小さな字で文章を書いている人もいて、要約するという作業は難しいのだろうと感じました。来週、もう一度班で話しあって発表に挑みます。



9月1日（火）2学年 探究Ⅱ

講座ごとに取り組むは多様です。表面には吉田先生の講座が原田禎夫先生の講義を聴いた様子が描かれています。私（丹生）もその講義を拝聴しました。保津川下りの船頭さんが、川に溢れるごみを見かねて、ボランティアで始めたごみ拾いが、原田先生をはじめとする周囲の人たちを巻き込み、市をあげてレジ袋使用禁止までたどり着いたという話に感銘を受けました。水源の一滴の水が川となり、さらに支流と支流が合流して大海となるように、小さな行動が地域に、国中に、世界に広がる様子を思い浮かべながら聞いていました。他にも、自分たちが住んでいる地域の特産物、柿の柿渋を塗ることで、水を注いでも破れない紙袋を作った高校生の話…。ペットボトルを減らす運動の一環として、マイボトルを持ち歩く人たちが、無料で給水できる場所を簡単に探せるアプリ、「mymizu（マイミズ）」の話…。「環境問題」だからと、仰々しく、堅苦しく考えるのではなく、かっこよく運動を進めている人たちのエピソードがたくさん聞いてよかったです。ちなみに、私もさっそく mymizu をインストールしました。市島駅や大杉ダム（市島町）などにいくつか給水ポイントが見られますが、お店はまだないようです。こんな運動に関わってみるのも、手軽でよいかもしれませんよ。

9月2日（水）1学年 丹BAL 1

知の探究コースでは、9月末の中間発表に向けてポスター制作の指示がありました。テーマを選んだきっかけやこれまでの経緯など、「丹波の魅力をおすそ分け」でお話を聞かせていただいた講師の先生方、普通クラスで同じテーマに取り組む人たちへの報告が狙いです。

普通クラスは、自分たちの取り組んできた内容をクラスメートに伝えました。さらにPRするポイントを掘り下げて映像やポスターなどで発信できるように班別活動を続けていきます。

